

ペット防災手帳

災害時連絡先

| 連絡先 | 電話番号 | 問合せ内容 |
|----------------|--------------|----------------|
| 指定避難所 () | | 避難所生活 |
| 動物病院 () | | ペットの健康 |
| 緊急時預け先 () | | 〒 |
| 利府町 環境生活班 | 022-767-2119 | 飼養支援 |
| 塩釜保健所 食品薬事班 | 022-363-5055 | 逸走・保護 ・咬傷事故 |
| 災害用伝言 ダイヤル | 171 | 声の伝言板 安否情報 |

災害時の心得

- まず、自らの安全を確保しましょう。次にペットの適正飼養に努めましょう。
- 平常時からのしつけや健康管理が、最も有効な災害対策になります。
- ペットを守ることができるのは飼い主だけです。周囲と協力して、ペットと共に災害を乗り越えましょう。

避難中のペット飼養環境

災害の種類や被災状況、自らの状況を踏まえて、以下のような選択肢から適切な飼育環境を選択する。

1 在宅避難（自宅飼養）

災害情報に注意を払いながら、情報や支援物資は、必要に応じて、指定避難所などに取りに行く。避難所生活に比べて、環境の変化が少なく、ストレスを軽減できる。二次災害の危険が考えられる場合は、避難する。

2 避難所生活

各避難所が定めたルールに従い、飼い主が責任を持って世話をする。避難所内では、飼養環境の変化によるトラブルが発生しやすいため、維持管理には、飼い主同士が助け合い、協力することが、必要となる。

3 車中・屋外テント避難

災害情報に注意を払いながら、情報や支援物資は、必要に応じて、指定避難所などに取りに行く。

特に、エコノミークラス症候群や熱中症への対策と注意が必要となる。

対策）手足伸ばして眠る、遮光、換気

4 施設や知人に預ける

被災を免れたペットホテルや知人などにペットを預ける。預け先の条件や期間、費用を事前に確認しておく。

（使い方）

- 飼い主や家族と一緒に撮ったペットの写真をここに貼り、中を記入しましょう。
- 避難時の持ち出し品と一緒にして、同行避難するときに携帯しましょう。
- 携帯電話にも画像を保存しましょう。

オリジナルのペット防災手帳を作成しましょう！

氏名 _____ 記入年月日 _____

住所 〒 _____

電話番号 _____

携帯電話 _____

利 府 町

| | | |
|----------------------|--|-----------------------|
| ミ・マガニ 駆除投薬 年・月 | ・ | ・ |
| | ・ | ・ |
| | ・ | ・ |
| 治療中 | | |
| 常備薬等 | なし・あり（ 回/日）（ 錠/回） | |
| 動物病院 獣医師 | 病院 | 先生 |
| 住所 | | |
| 電話番号 | | |
| 食事回数 | 回/日 | 種類 ドライ・缶・処方・ 特別 |
| 飼養場所 | 室内（フリー・ゲージ・部屋限定・その他） 屋外（フリー・係留・ゲージ・その他） | |
| 性格 | 人なつこい・警戒心強い・他人を拒絶 その他（ ） | |
| しつけ済 | おすわり・まで・ハウス・おいで | |
| その他 自由記入 | | |

ペットの情報

| | | | |
|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 名前 | | 種類 | |
| 生年月日 | ・ ・ | 性別 | オス・メス |
| 毛色 | | 避妊去勢 | 済・未 |
| 登録番号 (犬のみ) | | | |
| マイクロチップ 番号 | | | |
| 狂犬病 予防接種 年・月 | ・ ・ ・ ・ | フィラリア予 防投薬 年・月 | ・ ・ ・ ・ |
| 混合ワク チン接種 年・月 (種類) | (・) (・) (・) | (・) (・) (・) | (・) (・) (・) |

-1-

ペット備蓄品と優先順位

優先順位 1 動物の健康や命に係わるもの

- 療法食、薬
- ペットフード、水
(少なくとも5日分 [できれば7日以上])
- キャリーバッグやケージ
(猫や小動物には避難時に欠かせないアイテム)
- 予備の首輪、リード (伸びないもの)
- ペットシート
- 排泄物の処理用具
- トイレ用品
(猫の場合は使い慣れた猫砂、または使用済猫砂の一部)
- 食器

「ペットの防災手帳(本誌)」でも代替可

優先順位 2 情報

- 飼い主の連絡先と、ペットに関する飼い主以外の緊急連絡先・預け先などの情報
- ペットの写真
(印刷物とともに携帯電話などに画像を保存することも有効)
- ワクチン接種状況、既往症、投薬中の薬情報、検査結果、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報

優先順位 3 ペット用品

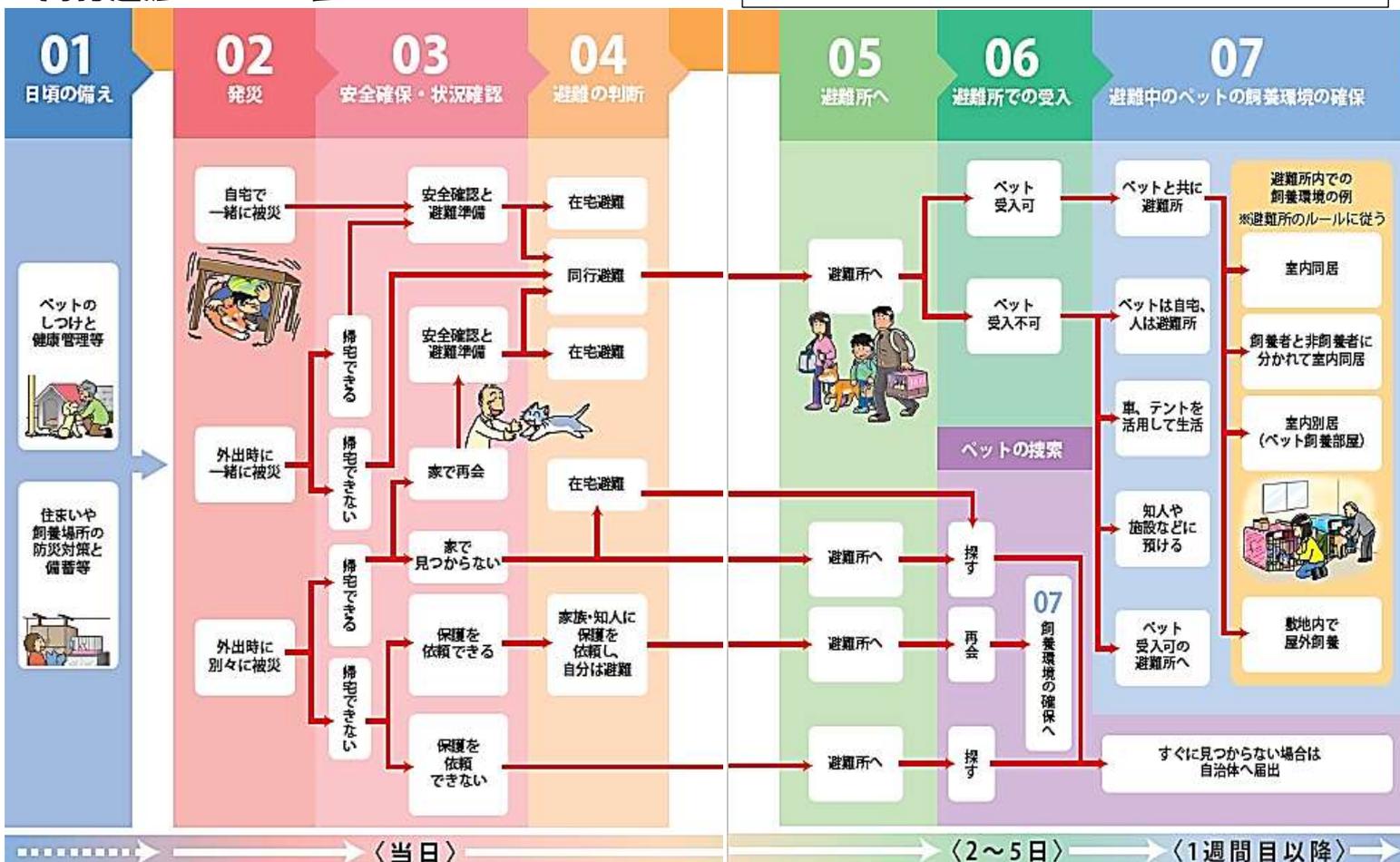
- タオル、ブラシ
- ウェットタオルや清浄綿
(目や耳の掃除など多用途に利用可能)
- ビニール袋
(排泄物の処理など多用途に利用可能)
- お気に入りのおもちゃなど匂いがついた用品
- 洗濯ネットなど
(猫の場合は屋外診療・保護の際に有用)
- ガムテープやマジック
(ケージの補修、段ボールを用いたハウス作り、動物情報の掲示など多用途に使用可能)



出典 環境省「災害、あなたとペットは大丈夫?人とペットの災害対策ガイドライン」
〈一般飼い主編〉P19 抜粋

-6-

同行避難のフロー図



※同行避難とは、避難行動を示す言葉であり、避難所でペットを人と同室で飼養管理することを意味するものではありません。

出典 環境省「災害、あなたとペットは大丈夫?人とペットの災害対策ガイドライン」 〈一般飼い主編〉P6-7 抜粋

-3-

-4-